

追手門学院大学の求める教員像と教員組織の編成方針

追手門学院教育理念「独立自彊・社会有為」では、こども園から大学・大学院までの総合学園として養成する人物像を明確にし、地域社会、国家および国際社会において、指導的役割を果たしうる人間の育成をめざすと宣言している。

本学は、この教育理念を実現するため、学則および大学院学則に人材育成の目的を、各学部・研究科において、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」および「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を明確にしている。さらに、大学は教育と研究を行う組織体として、研究者とし遵守すべき「研究倫理規程」を定めている。

本学では、これらを理解したうえで、教育と研究を実践できる教員を求め、大学設置基準等の法令に則った専任教員を配置し、教育理念を実現できる教員組織を編成する。

そのうえで、求める教員像および教員組織の方針を以下のとおり定める。

【求める教員像】

本学教員は、追手門学院の倫理憲章を順守し、教育理念に基づく教育目標を十分に理解したうえで、教育・研究並びに大学運営に専心し、学生の成長を促す教育を行うことが求められる。また、研究者として日々研鑽に努め、学術と社会の発展に資する研究成果の公開が求められる。

本学の教員として特に必要な能力と行動は以下のとおりである。

<能力>

- ・教育者として、また、専門性を持つ研究者として、不断の努力ができる。
- ・学生の人格を尊重し、学生と信頼関係を築くことができる。
- ・学生の成長を支援する学修指導ができる。
- ・教育を通して学生のキャリア形成に貢献し、学生の就職活動の支援ができる。

<行動>

- ・教育力の向上のために、本学のFD活動に積極的に参加し、あらゆる機会に、自らの教育能力の開発に努める。
- ・ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの実現に努める。
- ・学内業務（入試業務やオープンキャンパスなど）に積極的に関わる。
- ・教職員と信頼関係を築き、協働して大学の管理運営に関わる。
- ・自らの専門性を活かして、地域及び社会に貢献する。

【教員組織の編制方針】

追手門学院大学は、学院の教育理念に基づき、学生の成長を支援するために、文部科学省が定める設置基準に則った専任教員を配置するとともに、学部・学科等の組織に応じて適切な教員を配置し、教育と研究の両面で最大限の成果を求める。

そのため、教員組織の編制は以下を基本方針とする。

- (1) 学部等が教員集団として組織的に機能するために、副学部長と学部長補佐を配置し、学部長補佐体制をとる。
- (2) 教員の人事（採用・昇任等）は、その基準を明確にし、実施する。
- (3) 大学全体の教育目標や学部・学科等のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを実現するのに十分な教員組織とする。
- (4) 教育上主要と認める科目については、原則として専任教員が担当する。
- (5) 教員の年齢、性別、職位は教育・研究や学修指導の観点から適正な構成とする。